

会社概要

社名	株式会社武蔵野ユニフォーム【行田市】		
代表者	小松 和弘	業種	作業服等製造販売・卸売業
従業員数	13人	URL	http://www.musashinouniform.co.jp/shop/
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衣料品の製造、卸、販売 ・ 地元グッズの企画、製造、販売 		
沿革	<p>昭和35年 金子正男氏(初代)が「金子商店」として縫製業を開始</p> <p>昭和49年 本社を現所在地に移転 「(株)武蔵野ユニフォーム」に改組</p> <p>平成24年 前社長より事業承継</p> <p>平成26年 「経営革新計画」承認</p> <p>平成30年 「サムライ足袋」が「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー地方創生賞」受賞</p>		 <p>事務所外観</p>

「経営革新計画」に取り組んだきっかけ

代表は関西出身であり、義父の営んでいる事業を承継する形で行田市に移り住んだ。

事業拠点である行田市は、伝統的な足袋の町であるが、代表自身、職人が伝統技術を駆使して製造した足袋が、1,000円という単価で売られていたことに疑問を感じていた。

その中、地域活性化を図るべく、職人の技術にデザインという付加価値をつけて売り出そうと思い、ファッション性が高く、かつ、日本の伝統技術を活かした足袋の開発を考えた。

経営計画は作成していたが、新規事業に取り組むにあたり、やるべきことをより具体化するために、「経営革新計画」を活用しようと考えた。

経営革新のテーマと概要

テーマ	当社でのポップデザイン和服・足袋開発、 および『いま粋プロジェクト』海外店舗販売による海外展開
計画期間	平成25年7月～平成30年6月(5年計画) 【平成26年3月承認】

地場産業「行田の足袋」に関して。。。。

▶より新しい
製品開発
▶積極的な
海外展開

新聞、テレビ等の
多数のメディア露出

ブランドカ
の向上!

地方創生
にも寄与



SAMURAI TABI

普段着としても
履きこなせるデザイン!



斬新なデザインの「サムライ足袋」等を開発し、この取組が多くメディアで取り上げられ、ブランド力が向上した。また、展示会の出展など海外展開を積極的に行い、海外店舗販売に成功した。

「経営革新計画」の実践

1 サムライ足袋(旧ポップ足袋)の開発

- デザインや生地などを変え、バリエーションを増やした。また、岡足袋だけでなく、ゴム底の外履き用の地下足袋も開発した。
- 刺繍機を導入し、ロゴマークやオリジナルデザインを刺繍した足袋を開発した。

2 海外店舗販売による海外展開

- 取り扱ってくれそうなところにダイレクトメール。反応があったところに直接営業を行った。
- 現在、パリで2店舗、デュッセルドルフで1店舗、サムライ足袋を販売している。
- 平成29年4月より経済産業省主催の「Challenge Local Cool Japan in Paris」に採択され、常設展示、及び、テストマーケティングを行っている。好評のため、平成30年度も引き続き出展している。

3 JAPAN EXPOへ参加(2018年)

- 2015年以来、2度目の出展。また、今回はコンテストの開催を計画した。主催者側に提案したところ、「日本のモノで、外国人がモデル」というイベントは前例がなく面白いと評価され、「行田足袋コレ2018 in PARIS」を開催した。
- 展示ブースについては、イベントの盛況と出展場所の好立地により、予想を大きく上回る販売数だった。



サムライ足袋



パリ市内の店舗

「経営革新計画」の成果

- 売上高、経常利益、付加価値額の大幅アップを達成した。
- 足袋にデザインという付加価値を付けたことで、一品単価が向上した。また、製造は市内の事業者へ外注しており、地方創生の一助となっている。
- 足袋の開発・海外展開等の取組がメディアで取り上げられ、知名度が向上した。

成功の秘訣

一つは、社員に目標達成意識を持たせたこと。

月に一回「アイデア会議」を開催した。デザインのアイデアを募るだけでなく、計画の進捗確認も行い、社員全員に目標達成意識を持たせた。その結果、通常業務においても、業務効率化のアイデアが出し合える環境になった。

もう一つは、様々な資源を活用したこと。

国、県、市の支援策の活用はもちろん、知り合いから、開発ルートや販売ルートの情報収集、新製品のヒントを得た。

「経営革新計画」に取り組んでよかったこと

- 目標を明確に全社員に伝える体制が構築できた。
- 目標を達成するために行った活動を通して、多くの異業種の方々と深い関係が築けた。
- 目標を達成できたことで、次のステップに自信をもって進むことができた。

これから「経営革新計画」に取り組む皆様へメッセージ

「経営革新計画」を作成していく中で、中期計画を立てるプロセスは、自社の現状とこれからの目標を明確にすることができるため、おすすめです。

明確な目標を示すことで、社員のモチベーションをアップさせられます。

計画は立てて終了ではなく、あらゆる手段を講じて当初に立てた目標を達成してください。社員とともに同じ目標を達成することで、自社の団結力が格段に強くなります。



小松社長



従業員の皆様